

6月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【きれいに書いたよ！たくさん読んだよ！】

4月から1日一文字ずつ「ひらがな」の学習をしてきましたが、6月にすべての文字の学習が終わりました。書き順に気をつけて書いたり、「とめ」「はね」「まがり」「おすび」など自分で気をつけるところを決めて丁寧に書いたりすることで、書く力を伸ばしました。また、「ひらがな」の学習を活かして絵本などをたくさん読んでいます。読書旬間をきっかけに、読書記録カードに読んだ本を記入することにも頑張っています。読書記録カードが3枚終わったときにもらえる図書委員会からのしおりを励みにすすんで読書する子もいます。また、読み聞かせをしてもらい、本の世界を楽しむ様子も見られています。これからも読書をたくさんして、自分が見える言葉を増やし、想像力を伸ばしていけるとよいなと思います。

6月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【自分の役割に責任をもって】

2年生に進級し、早いもので3か月が経とうとしています。大きな行事はないものの立川市民科の町たんけん に3回、多摩動物公園に1回と校外で学習することが多いことから普段の学習でも周りを見て行動できるように話をしてきました。

間を空けて歩くと後ろの子の迷惑になることや自分の目で周りを見て歩かないと交通事故に遭うことなど交通安全に気をつけて歩くことの大切さを説いてきました。回を重ねる毎に、歩道の歩き方はもちろん、公共施設でも友達と声を掛け合い、ルールを守って行っていくことができました。

そして1番成長を感じたのは、多摩動物公園でのグループワークです。多摩動物公園では、動物クイズを片手にグループでいろいろな動物を観察して歩きました。グループでは、班長(人数報告)、副班長(タイムキーパー)、お弁当係(食事の挨拶、残地チェック)、保健係(けが人の報告)と役割分担をして臨みました。途中、班の中で様々なドラマがあったようですが、なんと12時の集合では、全員が時間前に揃うことができました。また、お弁当の後には、ゴミや落とし物が一つもなく、気持ちよく過ごすことができました。最後は、ヘトヘトだった子どもたちも大きな怪我もなく、みんな学校に帰ってくることができました。一人一人が自分の仕事はもちろん、周りを見ながら自ら考え行動する姿に成長を感じました。



3年生

6月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【体験的な学びを活かした学習活動】

3年生から始まった社会科では、スーパーマーケットの学習をしています。買い物調べでは、ご協力をしていただきありがとうございました。6月号でもお伝えしたように、学習したことを活かして各クラスがスーパーマーケットに見学に行っています。実際に行くことで、新しいことに気が付き、学習がより深まっていると感じています。また、算数科の授業では、「長いものの長さのはかり方と表し方」について学習しました。先日、1kmを実感するために校庭を子どもたち歩きました。歩く前には何周歩いたら1kmになるのか、歩き終わるのに何分ぐらいかかるの等、見当を付けて取り組みました。そして、立川市民科では「地域安全マップ」の学習を行っています。危険な箇所を確認する日には、ハートフルボランティアの方にご協力していただき、学区の安全について調べることができました。今まで通っていた道でも、学習を進めると危ない場所だと気が付きことができるようになりました。これからも引き続き、社会科や立川市民科だけではなく、様々な教科で自分の気付きや疑問を基に、児童一人一人が主体的に学習できるように体験的な学びを進めていきます。

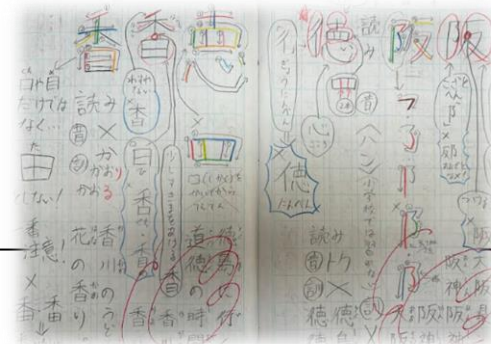


6月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【学びの旅を楽しむために～自分で決める～】

4年生になり、漢字の学習を中心に「自分で学び方を工夫する」という方法で学習を進めています。自分で決めた目標(100点を取りたい、丁寧に字を書けるようにしたい、苦手な漢字を書けるようになりたい 等)に向かって、自分に必要なことを自分で考えて取り組むようにしています。漢字の習熟を図ることが目標ですが、その先にある目的として「自分の学び(学びの旅)をより良いものにするために、自分の学び方を選んだり、考えたりしていくことが大切だよ。」と伝えています。

6月は「まねぶ」を合い言葉に仲間のノートを見つめる姿やクラスをまたいでのノートの交流等、同じ学びの旅に挑戦している仲間とともに支え合いながら学習を進めてきました。4月から始めた漢字の学習ですが、この3か月間で前向きに取り組む姿が多く見られました。子どもたち自身が自分の学び(学びの旅)を楽しみ、挑戦し、時には仲間と支え合いながら、自分の足で一歩ずつ進んでいけるよう今後も指導していきたいと思います。ぜひご家庭でも、子どもたちの漢字ノートを見ていただき、励ましの言葉を頂ければと思います。



6月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【つなげて、自分で考える】

高学年になると学習内容も難しくなり、初めて取り組む学習に戸惑う様子が見られることがあります。そのようなときは、今までの学習を振り返り、関連させて考えることを習慣化するように促しています。

算数科「小数のわり算」では、「わる数を整数に直せば、4年生で学習したわり算の計算が可能になる。」ことに着目して、計算の仕方を見つけ出しました。理科「メダカのたんじょう」では、前の単元の「植物の発芽と成長」の学習の際、成長するときに子葉の養分が使われてしおれた経験から、「生まれたばかりのメダカについている丸いものが、数日たつとしおれていく理由を考えました。社会科「気候や地形を生かしたくらし」では、それぞれの地域の人々の暮らしの工夫について、国語科で学習した要約を活用して、キーワードをつなげながら短く分かりやすくまとめました。

物事を関連させて考えることは、思考力の広がりや深まりにもつながります。これからも、様々な教科で「つなげて、自分で考える」ことを意識し、楽しく学習ができるように、支援を続けていきます。(メダカの卵は、毎日成長を見守りました。)



6月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【今、自分にできることを考える】

6年生は、6月13日（木）に、体験型英語学習施設 TGG（TOKYO GLOBAL GATEWAY）に行きました。各グループにイングリッシュスピーカーが付き添い、子どもたちは、ウォーミングアップからアクティビティや振り返りまで、3時間たっぷり英語の世界に浸りました。ちなみに、担任陣は、遠くから見守るのみです。

イングリッシュスピーカーの方々の言葉は全て英語なので、初めて聞く言葉もたくさんあったことでしょう。それでも、相手の顔や口の動きをじっくり見て、相手の言わんとしていることを理解しようと努力しようとする子、知っている単語を駆使し、ジェスチャーも使って相手に思いを伝えようとする子……。ピンチと思える状況の中でも、今の自分にできることを懸命に考え、行動したことがとても素敵です。

いよいよ、日光移動教室です。担任からの指示は最小限です。しおりを見て、自分たちで次の行動を考え、学年みんなで力を合わせて乗り越えていけるよう、見守っていきます。



あおぞら

6月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

【あおぞら交流会準備中！】

一年生をあおぞら学級に招待して、あおぞら交流会を行うためにみんなで準備しています。全体で「誰のために」「何を行うのか」を確認した後、遊びごとのグループに分かれて一年生に楽しんでもらえるように説明を分かりやすくしたり、グループの動きを練習したりしながら準備を進めています。



生活単元では、畑やプランターで育てている植物の観察を継続的に行っています。前回の観察で記録したシートを見て「前よりも葉の数が増えたかな」「実が前回よりも大きくなった」と観察することができました。また、継続して観察していく中で実や葉に注目して詳しく観察することもできるようになってきています。

